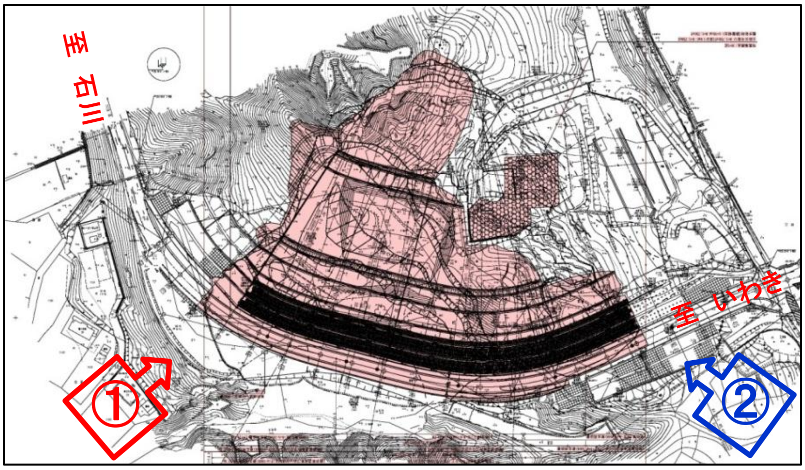
いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

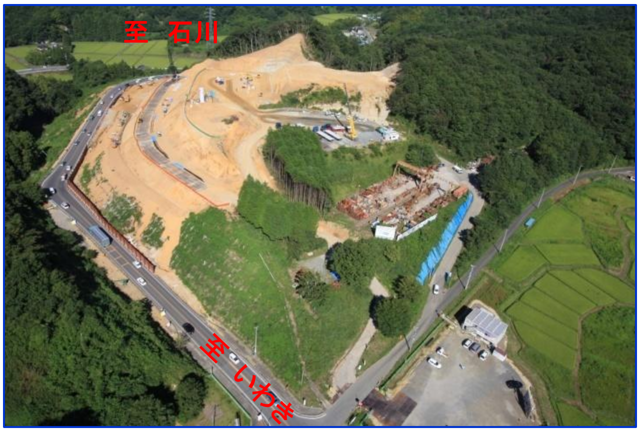
1．工事はどこまで進んだのですか？

■上釜戸工区（その１）

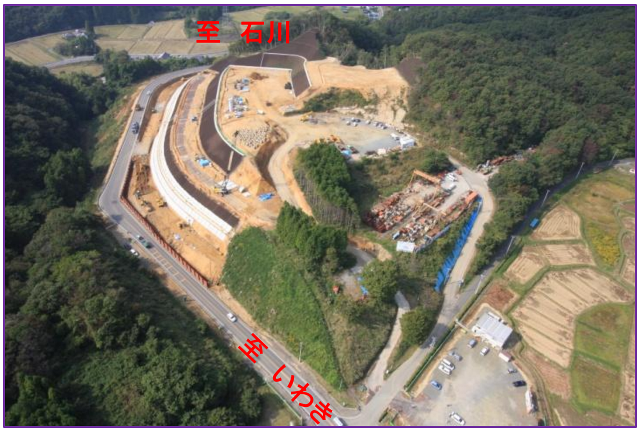
　現在、下から数えて２段目の土砂除去を行いながらｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工を施工しています。(ｱﾝｶｰ工施工全体数量575本のうち216本(38%)が完了)小名浜港へ運搬した約11万m3の土砂のうち、約9万m3 を東港に船で運搬済みです。



H24年８月末の状況（撮影場所：①）



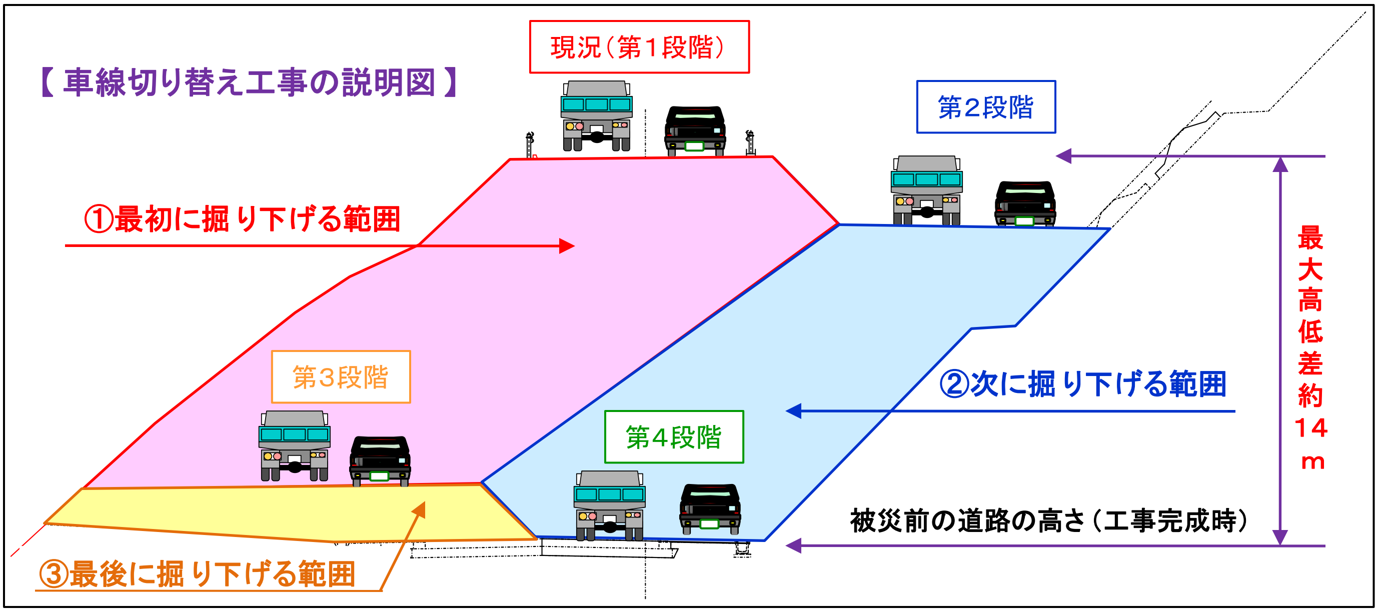
H24年８月末の状況（撮影場所：②）

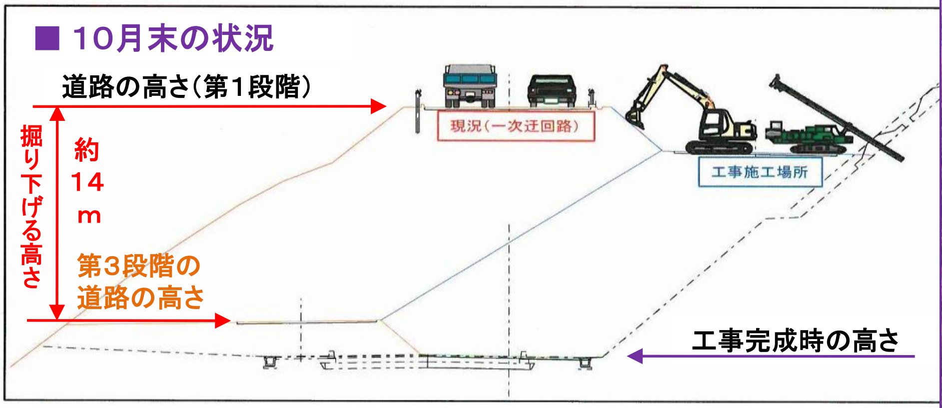


現在の状況（H24年１０月末）

■上釜戸工区（その２）

１１月上旬から仮道工の車線切り替え工事が始まります。 被災前の道路の高さ（工事完成時の高さ）に 掘り下げるまで、今後「３段階」の切り替え工事が必要となります。やむを得ず「片側交互通行」となる場合もありますので、通行される皆様の工事に対する御理解と御協力をよろしくお願いします。





■才鉢工区（その１）

現在、全10段中下から数えて１段目の斜面補強工事（ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工）を行っており、10月末現在で２～１０段目までの土砂除去（約４万m3：ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ約８,000台）と、３～１０段目の植生基材吹付工（約９千m2）、さらに、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工の施工全体数量249本のうち233本(94%)が完了しています。

H24年８月末の状況

H24年９月末の状況

現在の状況（H24年10月末）

■才鉢工区（その２）

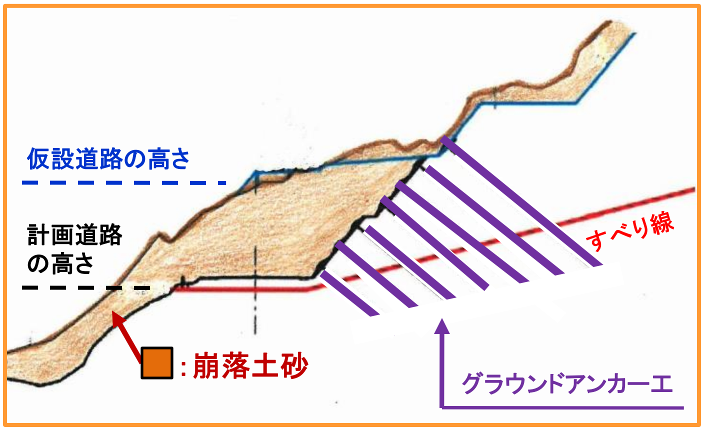
古殿町さんからの依頼を受け、除去した土砂を６月下旬から旧大原小学校跡地へ運ばせていただいておりましたが、10月初旬に全て完了しました。

旧大原小学校の校庭（古殿町）

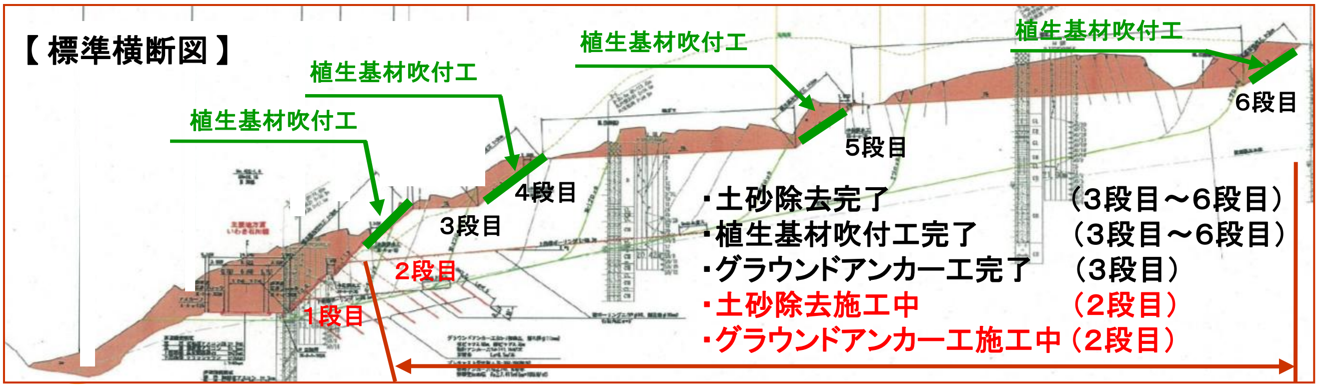
2、今後どのような工事を行うのですか？

■上釜戸工区

今後も下から数えて２段目の土砂除去と斜面補強工事（ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工）を行います。また、11月上旬から仮道工の車線切り替え工事が始まります。

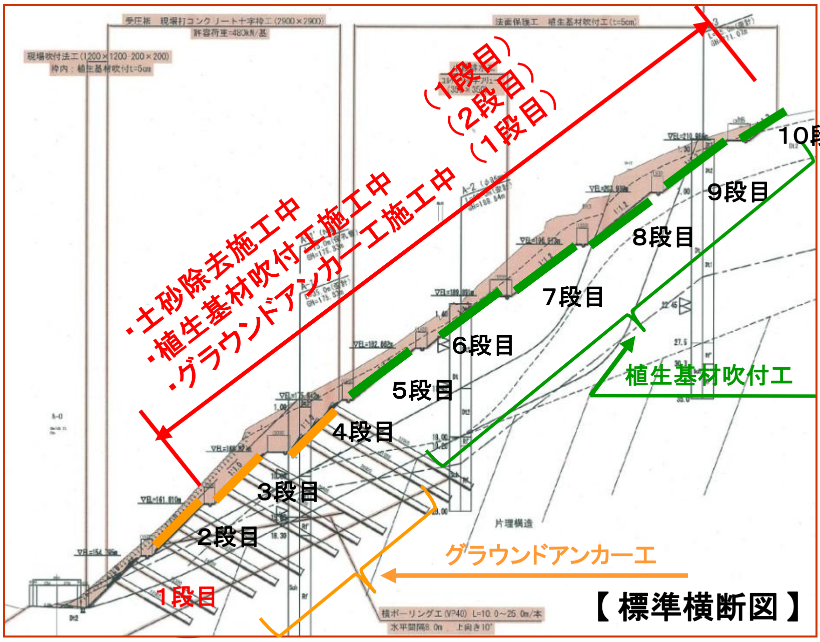


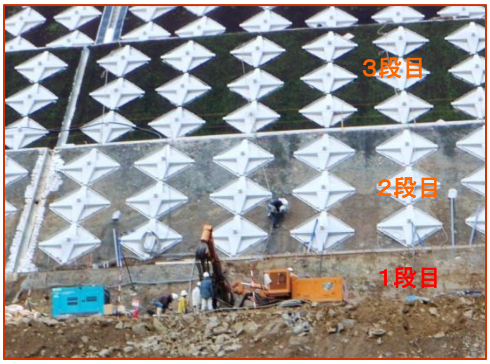
土砂撤去施工状況（２段目）



■才鉢工区

今後も１段目（一番下の段）の土砂除去と斜面補強工事（ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工、現場吹付法枠工）を行います。





ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｱﾝｶｰ工施工状況（1段目）

3．工事監督員の紹介

　いわき石川線の道路災害復旧工事の早期完成を目指し、担当する工区の工事関係者の皆さんと一丸となって日夜努力し続けている「いわき建設事務所」の「工事監督員」を紹介をします。

■上釜戸工区　工事監督員：中濵　早苗（なかはま さなえ）さん

【 自己紹介 】
　上釜戸工区を担当しております、いわき市出身で入庁13年目の中濵です。昨年の６月以降監督員を務めさせていただいております。仮道工の設計と工事から担当しているので、仮道工が完成し通行止めを解除できた日の感動は今も忘れられません。その後の土砂除去から現在のアンカー工事まで現場を一年半見続けてきましたが、まるで成長していく我が子を見ているようでとても愛おしく思えております。

【 今後の抱負 】
　当現場は、現場代理人をはじめ工事に携わる人すべてが「質の高い、いつまでも誇れる現場をつくろう」という共通の思いで、心こめて丁寧に作業にあたっております。今後は今まで以上の難工事となりますので、これまでの経験を生かし現場状況の変化に速やかに対応しながら安全第一で早期完成に努めます。

■才鉢工区　工事監督員：熊坂 秀人（くまさか　ひでと）さん

【 自己紹介 】
　才鉢工区を担当しております、福島市出身で入庁３年目の熊坂です。昨年度から道路や橋りょうの災害復旧工事の監督員を務めさせていただいておりますが、才鉢工区のような大規模な地すべり災害の復旧工事の監督員が現場経験の浅い私で務まるものかと、とても不安でした。監督員となった今年の４月以降は毎日が勉強と反省の日々ですが、監督業務に少しづつ自信が持てるようになりました。

【 今後の抱負 】
　施工者の皆さんの懸命な努力のおかげで計画どおりの工程で工事が進んできたことから、いよいよ本線（被災前の道路）の開通にも目途が立ってきたところでありますが、本線開通後は仮橋と仮道の撤去工事が残っているため、さらに気を引き締めて監督業務に励み、本工事がいわき市の復興の礎となるよう、精一杯努めていきたいと考えております。

4．いわき歳時記「満月祭」に参加しました。

　いわき市遠野町の秋の風物詩である、いわき歳時記「満月祭」が9月29日に行われました。
　会場には「和紙あんどん」が約2千5百個並べられ、上釜戸工区・才鉢工区の両ＪＶの関係者も参加し、地域活動に貢献するとともに、両工区の工事の安全といわき石川線の早期復旧を祈願しました。

【 事務担当 】
復旧・復興課　道路・橋梁復旧担当　主任主査　渡邉 敦宏　電話：0246(35)6075